

【兵庫県加西市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

GIGAスクール構想第1期において、1人1台端末や情報通信ネットワークによって「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的推進が可能な環境が整備された。第2期においては、ネットワークの強化等さらに環境面の整備を図りつつ、1人1台端末の活用により、子ども達が、主体的・対話的で深い学びにより基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、さらに思考力・判断力・表現力を育み、学習調整により粘り強く課題に取り組む態度をより一層養いたい。近い将来おとずれるSociety5.0時代を、たくましくしなやかに生き抜くことができる力を付けるためにも、他者との関わり合いや実習・実験、体験活動などリアルな体験を通して学ぶことと、1人1台端末を活用したデジタルの学びを両立させた高度な学びを自立的・自律的に進められる子ども達を育てたい。

2 GIGA第1期の総括

(1) 成果

- ・画像や動画など視覚的に学ぶことや情報収集が容易になり、より効果的・効率的に学ぶことが可能になった。
- ・離れた場所にいる他者とのやりとりによる学習や、欠席している児童生徒とのリモート学習が可能になった。
- ・課題解決のために子ども達一人一人が違ったプロセスで学習を進めたり、自分の習熟度に合わせた課題を選択したりすることが可能になり「個別最適な学び」が実現しつつある。
- ・子ども達一人一人の意見や考えを全体で共有することが容易になり、そのことによりグループ学習や他者参照する機会が増えるなど「協働的な学び」が促進された。

(2) 課題

- ・端末の故障やネットワークの不安定さにより継続した学びが左右されてしまう。
- ・1人1台端末を活用したネットワーク上でいじめ等問題行動が見られ、性質上、外部から見えにくいため事態が深刻化しやすい。
- ・実際に「書く」という機会が少なくなるなど、字形を整えて書字したり、じっくりと考えをまとめたり作文したりする力が養いにくくなった。

3 1人1台端末の利活用方策

まずは端末を活用した授業をさらに実施するために、教職員の資質能力の向上を図るICT研修を充実する。また、ICT支援員の配置（R6 約2.3校に1人）を拡充し、よりきめ細やかな学校支援を行いたい。それらを実現することにより、さらに1人1台端末を積極的活用した学びを実現していきたい。また、校務のDX化を同時に進めていくことで、教職員がデジタル化の便利さをより実感し、その発想を授業にも生かすというサイクルを生み出したい。「アナログかデジタルか」という二項対立で考えるのではなく、そのどちらも上手く活用しながら子ども達の学力形成が図れる教職員の資質能力向上を図りつつ、時代の変化に柔軟に対応していくことができる子ども達を育てていきたい。